

# 資料編

- 1 西東京市の概況
- 2 西東京市の産業を取り巻く社会経済情勢
- 3 西東京市産業振興マスタープラン後期計画の検証
- 4 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会設置要綱
- 5 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会委員名簿
- 6 策定の流れ
- 7 調査結果の概要と産業振興に対する意見・アイデア
- 8 用語解説

# 1

## 西東京市の概況

### ● 位置・地勢

本市は、東京都心から約 20km 北西に位置しています。武蔵野台地のほぼ中央にあり、北は埼玉県新座市、南は武蔵野市及び小金井市、東は練馬区、西は小平市及び東久留米市に接しています。

市内の北部には白子川、中央には新川、南部には石神井川が流れており、その沿岸は 2～3m の低地となっています。西から東になだらかに傾斜したほぼ平らな地域であり、地質は植物の育成に適した関東ローム層です。

市域は東西 4.8km、南北 5.6km にわたり、面積は 15.75km<sup>2</sup>です。都心との近接性や交通利便性を背景に、高度経済成長期には人口が急激に増加し、住宅を中心とした都市が形成されてきました。

近年、都市計画道路の整備が進み、市内の交通利便性や防災性が高まっています。また、駅周辺の整備も継続して実施されています。

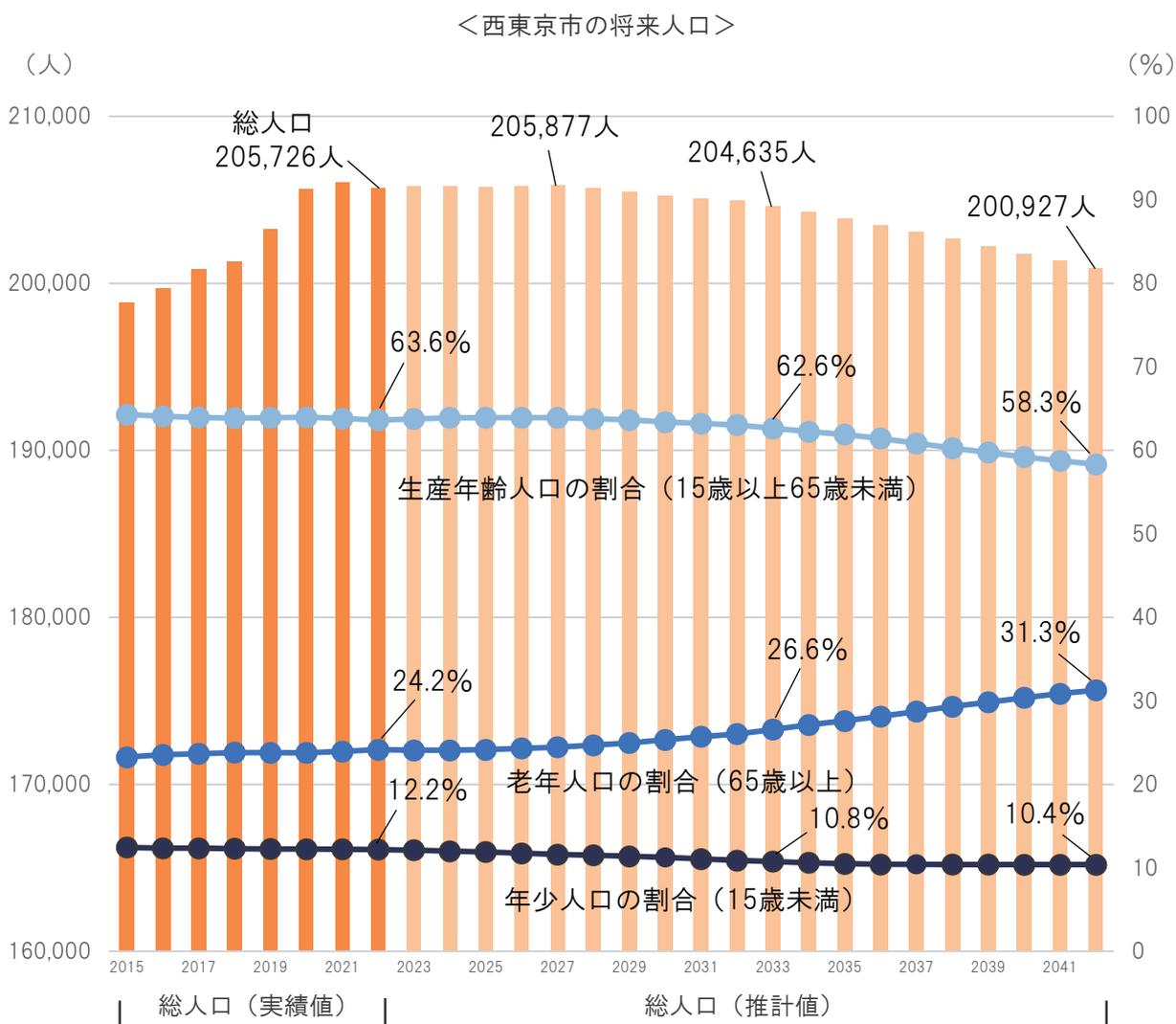


電子地形図（国土地理院）を基に作成

## ●人口

平成 29 (2017) 年 4 月に、人口が 20 万人を突破しました。西東京市人口推計調査報告書 (令和 4 年 11 月) によると、本市の人口は、令和 9 (2027) 年まではおおむね横ばいの状態が続き、その後は緩やかに減少し、本計画の最終年度である令和 15 (2033) 年における人口は 204,635 人になると想定されています。

年齢別に見ると、年少人口、生産年齢人口が緩やかに減少するのに対し、老年人口は令和 5 (2023) 年以降も増加し続け、令和 24 (2042) 年には 31.3%になると予想されています。

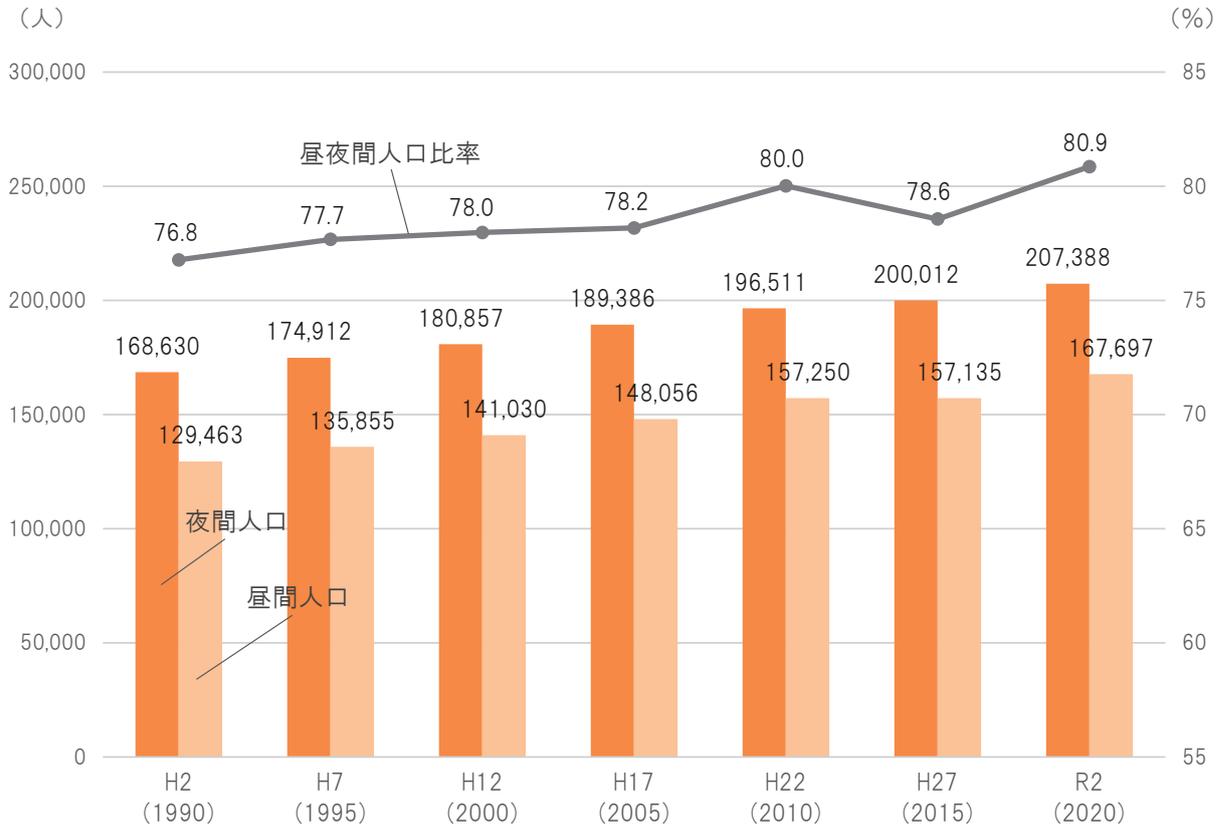


出所：西東京市人口推計調査報告書 (令和 4 年 11 月)

本市は、住宅都市という特色の影響もあり、夜間人口が昼間人口を上回っています。

昼夜間人口比率は、平成 27（2015）年に一度減少に転じましたが、平成 2（1990）年以降、おおむね増加傾向にあり、令和 2（2020）年には 80.9%となりました。

＜西東京市の昼夜間人口比率＞



出所：国勢調査（令和 2 年 10 月 1 日時点）

市内在住者の勤務先の内訳を見ると、令和2（2020）年時点において、半数近くが東京23区に勤務しています。一方で、市内に勤務している就業者数は、全体の32.1%の28,272人となっており、平成22（2010）年の21,888人（全体の27.0%）から10年間で6,384人増加しました。また、市内就業者の居住地の内訳を見ると、令和2（2020）年時点において、市内に在住している割合は53.7%と半数を超えています。

<市内在住者の勤務先の内訳>

勤務先	実数（人）	構成比（%）
就業者総数	88,162	100.0
西東京市内	28,272	32.1
西東京市外	59,890	67.9
小平市	1,556	1.8
東村山市	699	0.8
清瀬市	449	0.5
東久留米市	1,726	2.0
三鷹市	1,376	1.6
武蔵野市	3,792	4.3
東大和市	220	0.2
立川市	733	0.8
23区	40,719	46.2
都内その他	3,284	3.7
埼玉県	3,496	4.0
その他の地域	1,840	2.1

<市内就業者の居住地の内訳>

居住地	実数（人）	構成比（%）
就業者総数	52,631	100.0
西東京市内	28,272	53.7
西東京市外	24,359	46.3
小平市	1,813	3.4
東村山市	1,348	2.6
清瀬市	601	1.1
東久留米市	2,386	4.5
三鷹市	422	0.8
武蔵野市	750	1.4
東大和市	476	0.9
立川市	336	0.6
23区	5,275	10.0
都内その他	2,665	5.1
埼玉県	6,095	11.6
その他の地域	2,192	4.2

出所：国勢調査（令和2年10月1日時点）

## ● 産業構造

市内に立地している事業所は、令和3(2021)年時点において4,792か所であり、平成28(2016)年の5,000か所から208か所減少しています。また、従業者数は、令和3(2021)年時点において47,292人となっており、平成28(2016)年の47,900人から608人減少しています。

業種別に見ると、「情報通信業」、「不動産業、物品賃貸業」、「学術研究、専門・技術サービス業」において事業所数や従業者数が増加しており、特に「情報通信業」は、事業所数、従業者数ともに増加率が高くなっています。一方で、「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」は、事業所数、従業者数がともに大きく減少しており、新型コロナウイルス感染症の影響がうかがえます。

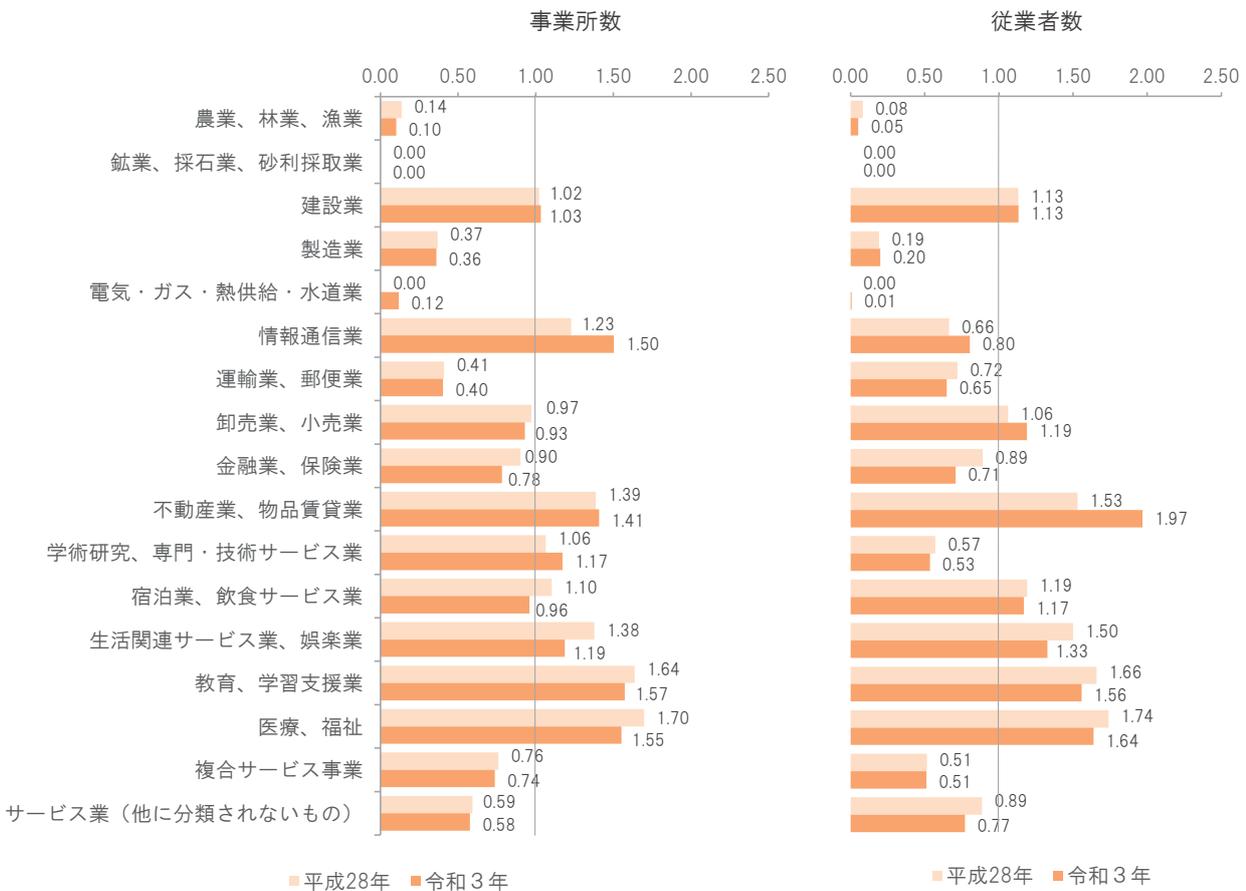
＜西東京市の産業大分類別事業所数及び従業者数の推移＞

	事業所数（か所）			従業者数（人）		
	平成28年 (2016)	令和3年 (2021)	増減率 (%)	平成28年 (2016)	令和3年 (2021)	増減率 (%)
総数	5,000	4,792	▲4.2	47,900	47,292	▲1.3
農業、林業、漁業	4	4	0.0	25	19	▲24.0
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	-	0	0	-
建設業	451	466	3.3	3,516	3,454	▲1.8
製造業	150	138	▲8.0	1,435	1,442	0.5
電気・ガス・熱供給・水道業	0	1	100.0	0	1	100.0
情報通信業	70	107	52.9	918	1,304	42.0
運輸業、郵便業	48	48	0.0	1,940	1,727	▲11.0
卸売業、小売業	1,181	1,063	▲10.0	10,597	11,268	6.3
金融業、保険業	68	61	▲10.3	1,148	863	▲24.8
不動産業、物品賃貸業	439	490	11.6	1,885	2,599	37.9
学術研究、専門・技術サービス業	213	275	29.1	886	925	4.4
宿泊業、飲食サービス業	689	534	▲22.5	5,373	4,461	▲17.0
生活関連サービス業、娯楽業	581	479	▲17.6	3,059	2,357	▲22.9
教育、学習支援業	246	239	▲2.8	2,553	2,481	▲2.8
医療、福祉	653	667	2.1	10,801	10,913	1.0
複合サービス事業	23	22	▲4.3	210	182	▲13.3
サービス業（他に分類されないもの）	184	198	7.6	3,554	3,296	▲7.3

出所：経済センサス（平成28年活動調査、令和3年活動調査）

本市の産業構造を特化係数\*で見ると、事業所数、従業者数ともに「不動産業、物品賃貸業」、「教育、学習支援業」、「医療、福祉」で1を大きく超えており、これらの産業に特化していることがわかります。また、「情報通信業」、「学術研究、専門・技術サービス業」においては、従業者数の特化係数に対して事業所数の特化係数が大きいことから、小規模な事業所が多く集積していることがわかります。

＜西東京市における産業大分類別の特化係数＞



出所：経済センサス（平成28年活動調査、令和3年活動調査）

\*本市の全産業に占める各産業の割合÷全国の全産業に占める各産業の割合。なお、特化係数が1を超えている産業は、全国平均に比べて相対的に特化していると言える。

資料編

## 2 西東京市の産業を取り巻く社会経済情勢

### ● 景気

令和2（2020）年に新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、感染拡大防止のための緊急事態宣言等の発出により社会経済活動が抑制され、日本経済は大きく落ち込みました。しかし、行動抑制の緩和や新型コロナウイルス感染症の5類移行等による社会経済活動の正常化に伴い、国内景気はコロナ禍以前の水準まで回復しつつあります。賃金の上昇と企業の設備投資拡大によって、内需主導の景気回復が進んでいます。全国的に賃上げ傾向は続いています。海外情勢の影響等により物価が上昇しているため、実質賃金は減少しています。

失業率は、令和2（2020）年及び令和3（2021）年には一時3%を超えましたが、令和4（2022）年以降は2%台半ばで推移しています。社会経済活動の再開により、飲食業や宿泊業等を中心に多くの業種で人手不足が生じています。

### ● 消費

コロナ禍により全国的に社会経済活動が制限され、消費行動が抑制された結果として貯蓄が増加していましたが、社会経済活動が再開されるにつれて、その貯蓄を支えに個人消費が緩やかに回復しつつあります。

コロナ禍は消費者のライフスタイルや生活環境等に多くの影響を与え、行動変容を促しました。ステイホームが推奨されたことで、オンラインツールが急速に普及し、非対面・非接触型のサービスが増加しました。巣ごもり消費の影響により、令和2（2020）年には物販系分野の消費者向け電子商取引市場規模の大幅な拡大が見られ、外出機会が回復した令和3（2021）年以降も市場規模は引き続き拡大しており、電子商取引の利用が消費者の間で定着しつつあることがわかります。物販系分野・サービス系分野・デジタル分野を合わせた消費者向け電子商取引の市場規模は令和3（2021）年に20兆円を突破しています。

### ● 働き方

終身雇用制度等の従来の日本的雇用形態が変化し、独立や起業のほか、副業・兼業を希望する人々が増えています。また、コロナ禍を契機にオンラインツールが急速に普及したことにより、人々の働き方はますます多様化しています。厚生労働省は、個人が自由度の高い働き方や暮らしを通じて、生産性を高め、豊かさや仕事のやりがいを感じられるとともに、企業が組織の多様性を成長につなげられるよう、職務内容、勤務地、労働時間などを限定して選択できる「多様な正社員」制度の導入を推進しています。

共働き世帯の割合が増加を続け、男女を問わず家庭と仕事を両立することが求められている中、産後パパ育休制度の創設等、育児を積極的に行う男性を支援する取組みが進められ、男性の育休取得率も低水準ながら徐々に上昇しつつあります。

日本は、企業によるOJT以外の人材投資や、個人による社外学習・自己啓発が諸外国と比べて不十分な状態にあります。デジタル社会においては、全ての国民が役割に応じた相応のデジタル知識・能力を習得する必要があるため、経済産業省は、現役のビジネスパーソンの学び直し（＝リスキリング）を推奨しています。

## ● 各分野を取り巻く国・東京都の動向

政府は、令和4（2022）年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、「新しい資本主義」の一柱として位置付けられたデジタル田園都市国家構想を通じて、デジタル技術の活用により、地域の個性を活かしながら地方の社会課題の解決や魅力の向上を図り、地域活性化に向けて取組みを進めています。

インバウンドが徐々に回復傾向にある中で、東京都は「未来の東京戦略2023」を策定し、コロナ禍で深刻な影響を受けた観光業が時宜を逸せずインバウンド需要を獲得できるようにするための施策を推進しています。

農業分野においては、都市農地の貸借の円滑化に関する法律が平成30（2018）年に施行されたことにより、生産緑地地区の農地の貸付がしやすくなりました。農地貸借が進展したことで、市街化区域内の農地面積が減少を続ける中、生産緑地地区の農地面積はほぼ横ばいで推移しています。

ものづくり分野においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、国際情勢の変化等、事前の予測が困難な事象が相次いで発生し、サプライチェーンの強靱化が課題となっています。また、脱炭素化の実現や人手不足、原材料・エネルギーの価格高騰等も重要な課題です。これらの課題を解決するため、現場の強みを活かしつつ、サプライチェーンの最適化を図り、競争力を強化することが求められています。また、DXに向けた投資の拡大やイノベーションの推進により、生産性の向上や利益の増加につなげ、所得に還元する好循環を創出することも重要です。

# 3 西東京市産業振興マスタープラン後期計画の検証

後期計画では、農、しごと、商店街、西東京市ブランドの4分野で施策を展開しました。これらの進ちょく状況を、実行プログラム、効果測定指標、農業者・事業者による評価に基づいて検証しました。

## ■ 実行プログラム

取組みの方向性 1	スケジュール					着手状況	具体的な取組み
持続可能な「農」が共生するまちをつくる	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和4 (2022)年 度末時点	令和4(2022)年度末時点
<b>施策1 農地の多面的機能の発揮</b>							
農業交流拠点の利活用の推進	活用及び新たな展開					○	農のアカデミー体験実習農園や農のアトリエ「蔵の里」を活用しての農業学習
災害時協力農地の拡大	協議・拡大・周知					○	災害時協力農地の認定を締結するためのPRを実施
農業交流事業の展開	実施					○	花つみの丘でイベント実施
<b>施策2 収益力向上を目指した農業経営の推進</b>							
農業普及啓発プロジェクトの活用	活用及び新たな展開					○	販売会等でファームカーを活用
販路拡大に向けた直売所の利用の促進	検討・実施					○	西東京市ホームページに直売所情報を掲載 スポーツ施設を利用したマルシェを開催
緑のアカデミー事業の実施	実施					○	継続実施
親子で野菜づくりにチャレンジの実施	実施					○	継続実施
農業体験農園の推進	周知・実施					○	農業体験農園整備補助金の活用

## ■ 『持続可能な「農」が共生するまちをつくる』の効果測定指標

指標		当初 (平成30(2018)年度)	現状 (令和4(2022)年度)	目標値
市民の農業・農地に対する理解促進	農業に対する満足度	29.9%	30.6%	40.0%
市内生産量の拡大	市内における農業産出額	4,346千円	4,786千円	4,346千円
	農地面積	135ha	117.6ha	118ha
市内産農産物の販路拡大	販路の多様性	55.9%	55.1%	61.0%

## ■施策に対する農業者による評価

事業	満足度	重要度	評価
事業 1 直売所の利用の推進	2.59	2.77	現状維持
事業 2 めぐみちゃんメニューの推進	2.22	2.48	見直し
事業 3 学校給食との連携・農産物等販売会（マルシェ）の実施	2.07	2.38	見直し
事業 4 めぐみちゃんブランドの普及啓発	2.45	2.50	現状維持
事業 5 地域や商店街との連携	2.40	2.55	現状維持
事業 6 地元と連携した後継者育成、若い担い手（新規就農者含む）の育成の検討	2.36	2.73	現状維持
事業 7 女性農業者の育成の検討	2.12	2.46	見直し
事業 8 農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ	2.04	2.23	見直し
事業 9 認定農業者への支援の拡充の検討	2.50	2.81	現状維持
事業 10 営農支援事業の適正運営	2.58	2.90	現状維持
事業 11 生産緑地地区制度への意見の具申	2.71	2.95	現状維持
事業 12 農地の適正な肥培管理	2.88	2.93	現状維持
事業 13 市内農業関係施設の活用推進	2.27	2.51	見直し
事業 14 災害時協力農地の拡大	2.56	2.82	現状維持
事業 15 農業普及啓発プロジェクトの活用	2.26	2.46	見直し
事業 16 農地の貸借における仲介の仕組みづくりの支援	2.34	2.76	重点化
事業 17 めぐみちゃんマーケットの開催	2.20	2.44	見直し
事業 18 イベント等の実施	2.22	2.46	見直し
事業 19 市民農園の新しい展開	2.07	2.46	見直し
事業 20 農業体験農園の推進	2.31	2.47	見直し
平均	2.36	2.60	

出所：西東京市農業振興計画策定に係る調査・報告書（令和5年3月）

## ■ 実行プログラム

取組みの方向性2	スケジュール					着手状況	具体的な取組み
多様な「しごと」が生まれ循環するまちをつくる	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和4 (2022)年 度末時点	令和4(2022)年度末時点
	<b>施策1 経営基盤の強化</b>						
人材育成に向けた各種セミナーの実施	見直し・実施					○	支援機関（創業支援・経営革新相談センター及び多摩信用金庫）による創業スクール開催（年2回）
経営力・収益力の強化に向けた各種セミナーの実施	見直し・実施					○	創業支援セミナー、創業・経営相談を随時実施
事業融資あっせん制度の実施	検証・実施					○	融資検討委員会を適宜開催し検証 新型コロナウイルス感染症対策運転資金融資あっせん制度創設
市外への事業者情報の発信支援	実施					○	産業ニュース「西東京市匠navi」発行（年3回）
<b>施策2 新たな「しごと」の創出</b>							
女性の働き方サポート推進事業の推進	実施					○	各種講座、ハンサム・ママプロジェクト、ビジネスプランコンテストの開催
チャレンジショップ事業の実施	実施					○	空き店舗対策、毎年度4件採択
創業拠点の利活用の推進	活用・実施					○	RIPPLE NISHITOKYO、HIBARIDO、OK西東京
創業に関する相談・助言の実施	実施					○	支援機関による個別相談 創業PORTAL（ウェブサイト）
創業及び新分野融資あっせん制度の実施	検討	実施	検討			○	融資検討委員会を適宜開催し検討 借換資金融資あっせん制度創設
<b>施策3 就労環境の整備</b>							
国、東京都との連携による求職ニーズへの対応	実施					○	シニアワーキングセミナー、しごとフェア（セミナー・面接会）等 毎年度5回程度開催
福利厚生事業への支援	実施・見直し検討					△	中小企業退職金共済掛金補助事業 勤労者福祉サービスセンター

## ■ 『多様な「しごと」が生まれ循環するまちをつくる』の効果測定指標

指標		当初 (平成30(2018)年度)	現状 (令和4(2022)年度)	目標値
市内事業者の経営意欲の増加	各種セミナーの満足度	3.8点	4.6点	4.3点
起業・創業者数の増加	創業支援等事業及び女性の働き方サポート推進事業による創業件数	19件	29件	25件
納税客体の増加	法人市民税の納税義務者数	3,193人	3,499人	3,313人

## ■ 実行プログラム

取組みの方向性 3	スケジュール					着手状況	具体的な取組み
	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度		
身近な「商店街」が暮らしを支えるまちをつくる						令和4 (2022)年 度末時点	令和4(2022)年度末時点
施策1 活力ある組織づくり							
消費者ニーズの調査・研究	調査・研究実施					○	消費者アンケート調査の実施
商店街ブランドデザイン事業の実施	検討	実施			検証	○	商店会名入りエコバッグ、スタッフ半纏作成、街路灯フラッグ、商店会マップ作成
商店会連絡会議等の開催	実施					○	年3回開催
施策2 新たな価値の創造							
商業便利度向上事業の実施	実施					○	デジタル化推進活動巡回 情報セキュリティ強化・推進活動巡回 商店会巡回相談の実施
駅周辺エリアごとの一体的な商店街振興の支援についての検討と実施	検討・実施					○	
空き店舗活用の支援	見直し・実施					○	創業支援・経営革新相談センターの相談員として不動産業者を配置 建築家と巡る物件トーク&ツアー
空き店舗情報のマッチング	検討・試行	実施				○	

## ■ 『身近な「商店街」が暮らしを支えるまちをつくる』の効果測定指標

指標		当初 (平成30(2018)年度)	現状 (令和4(2022)年度)	目標値
商店会運営の持続	商店会数	20 商店会	16 商店会	20 商店会
空き店舗の活用	チャレンジショップ事業の活用	41 件	57 件	61 件
市民の市内消費満足度の向上	買い物便利度	38.2%	44.6%	41.0%

## ■ 実行プログラム

取組みの方向性4	スケジュール					着手状況	具体的な取組み
魅力ある「西東京市ブランド」が輝くまちをつくる	令和元 (2019) 年度	令和2 (2020) 年度	令和3 (2021) 年度	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和4 (2022)年 度末時点	令和4(2022)年度末時点
	施策1 「西東京市ブランド」の構築・情報発信・PR						
一店逸品事業の推進	見直し・実施					○	認定店選定、冊子作成、逸品めぐりモバイルラリー
産業ニュース等の発行	実施・見直し検討					○	産業ニュース「西東京市匠navi」発行(年3回)
めぐみちゃんメニュー事業の推進	見直し・実施					○	小・中学生考案メニューを販売
めぐみちゃんマルシェの開催	見直し・実施					○	田無・保谷ペDESTリアンデッキ、スポーツセンター、いこいの森公園等で開催
ファームカーを活用した即売会の開催	実施・拡充					○	ファーマーズマーケットを開催(JA)
市内産農産物活用事業の実施	見直し・実施					○	農産物販売会の実施(JA)
施策2 イベント開催によるにぎわいづくり							
地方都市物産展の実施	実施					○	姉妹・友好都市観光物産展
新たなマーケット創出イベントの実施	検討	実施			検討・実施	△	スポーツ施設を利用したマルシェの開催
商店街を中心とした地域、市民団体等との連携によるイベントの実施	継続実施					○	田無名物盆踊り大会(田無商業協同組合)ふれあい市場(東伏見商栄会)
施策3 新たな連携の創出							
西東京市ブランドづくりプロジェクトの推進	検討・実施					○	ジュンスカの日イベント、駅前情報発信プロジェクト
産業振興戦略会議の実施	実施・拡充					○	年1回程度実施
産学公金連携事業の検討	実施					△	「西東京市ブランド」を輝かせる取組みについて検討
事業者間マッチングの支援	見直し・実施					○	創業カフェ(年6回)、事業者交流会
農業と地域や商店街との連携	実施・検証	新たな展開				○	スポーツ施設を利用したマルシェの開催
施策4 観光まちづくりの推進							
観光振興に関する近隣市との連携	実施		検証・新たな展開			○	北多摩TOKYOカードラリー、北多摩TOKYOアニメスタンプラリー

## ■ 『魅力ある「西東京市ブランド」が輝くまちをつくる』の効果測定指標

指標		当初 (平成30(2018)年度)	現状 (令和4(2022)年度)	目標値
「西東京市ブランド」の認知度向上	一店逸品事業の認知度	29,022 アクセス	36,742 アクセス	50,000 アクセス
	めぐみちゃんメニュー事業の認知度	34,179 アクセス	54,363 アクセス	55,000 アクセス
交流人口の増加	市内来訪者数	45,039千人	36,501千人 (令和3(2021)年度時点)	47,000千人
市内事業者の経営意欲	ブランド事業参加事業者の意向	79.0%	89.7%	90.0%

■ 施策に対する事業者による評価

施策	満足度	重要度	評価
施策1 経営基盤の強化	0.18	0.97	現状維持
施策2 新たな「しごと」の創出	0.06	0.77	現状維持
施策3 就労環境の整備	-0.01	0.90	現状維持
施策4 活力ある組織づくり	-0.30	0.92	重点化
施策5 新たな価値の創造	-0.29	1.03	重点化
施策6 「西東京市ブランド」の構築・情報発信・PR	-0.13	0.86	現状維持
施策7 イベント開催によるにぎわいづくり	-0.23	0.85	見直し
施策8 新たな連携の創出	-0.18	0.94	重点化
施策9 観光まちづくりの推進	-0.29	0.66	見直し
平均	-0.13	0.88	

出所：西東京市事業者・消費者アンケート調査報告書（令和5年3月）

## 4 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会設置要綱

### 第1 設置

令和5年度に終了する西東京市産業振興マスタープラン後期計画及び令和6年度を開始年度として策定する西東京市第3次総合計画に基づき、西東京市第2次産業振興マスタープランを策定するため、必要な事項を調査及び検討する西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

### 第2 所掌事項

委員会は、次の事項について調査及び検討をし、その結果を市長に報告する。

- (1) 西東京市第2次産業振興マスタープランの策定に関すること。
- (2) 西東京市内の農業及び商工業の振興に関すること。
- (3) その他市長が必要と認める事項に関すること。

### 第3 組織

委員会は、次に掲げる委員10人以内で構成する。

- (1) 一般公募による市民 2人以内
- (2) 学識経験者 3人以内
- (3) 西東京市内の農業関係者 2人以内
- (4) 西東京市内の商工業関係者 3人以内

### 第4 任期

委員の任期は、第2に規定する所掌事項が終了するまでとする。

### 第5 会長及び副会長

委員会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

### 第6 委員会

委員会は、会長が招集し、会長が委員会の議長を務める。

- 2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ開催することができない。
- 3 会長は、必要があると認めるときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、意見等を聴取することができる。
- 4 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### 第7 公開

委員会は、原則公開で行うものとする。ただし、委員会の出席委員の過半数をもって決したときは、非公開とすることができる。

### 第8 謝金

委員が委員会に出席したときは、予算の範囲内において定める額を謝金として支給する。

### 第9 庶務

委員会の庶務は、生活文化スポーツ部産業振興課において処理する。

### 第10 委任

この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

### 附則

この要綱は、令和4年4月1日から施行する。

## 5

## 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会委員名簿

(敬称略)

役職	区分	氏名	職名等	在任期間
会長	市内の 商工業関係者	小野寺 崇	西東京商工会事務局長	令和4(2022)年8月から 令和5(2023)年3月まで
		清水 晋	西東京商工会事務局長	令和5(2023)年4月から 令和6(2024)年3月まで
副会長	市内の 農業関係者	村田 秀夫	西東京市農業委員会会長	令和4(2022)年8月から 令和5(2023)年1月まで
		保谷 隆司	西東京市農業委員会会長	令和5(2023)年1月から 令和6(2024)年3月まで
委員	学識経験者	木崎 英司	亜細亜大学経営学部 ホスピタリティ・ マネジメント学科教授	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで
委員	学識経験者	飯島 享	株式会社アスタ西東京 代表取締役	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで
委員	学識経験者	村山 浩宜	コンサルティングオフィス フットループ代表	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで
委員	市内の 商工業関係者	松川 紀代美	西東京商工会会長	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで
委員	市内の 商工業関係者	指田 泰弘	多摩信用金庫田無支店長	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで
委員	市内の 農業関係者	本橋 正明	JA 東京みらい西東京地区 統括支店長	令和4(2022)年8月から 令和5(2023)年2月まで
		松崎 諭志	JA 東京みらい西東京地区 統括支店長	令和5(2023)年3月から 令和5(2023)年10月まで
		井口 敏之	JA 東京みらい西東京支店 西東京地区統括支店長	令和5(2023)年10月から 令和6(2024)年3月まで
委員	公募市民	桐木 美里	—	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで
委員	公募市民	平松 沙彩	—	令和4(2022)年8月から 令和6(2024)年3月まで

# 6 策定の流れ

## ① 西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会

学識経験者や市内事業者等が参加する西東京市第2次産業振興マスタープラン策定委員会を8回開催し、計画策定に向けて検討・協議しました。

回	開催日	概要
第1回	令和4（2022）年 8月29日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 委員会の運営方法</li> <li>・ 西東京市を取り巻く社会経済状況</li> <li>・ 第2次産業振興マスタープラン策定の概要</li> <li>・ 産業振興マスタープラン後期計画の着手状況</li> <li>・ 第2次産業振興マスタープラン策定のスケジュール</li> <li>・ アンケート調査の実施概要</li> </ul>
第2回	令和4（2022）年 10月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画策定に向けた調査（後期計画の着手状況、西東京市の産業を取り巻く動向、人口推計結果、事業者アンケート調査、ヒアリング調査、消費者アンケート調査）</li> </ul>
第3回	令和5（2023）年 2月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者・消費者アンケート調査の集計・分析について</li> <li>・ 事業者アンケート調査集計報告及び評価</li> <li>・ ヒアリング調査経過報告</li> <li>・ 施策体系について</li> </ul>
第4回	令和5（2023）年 5月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和5年度の策定スケジュール</li> <li>・ 第2次産業振興マスタープラン策定に向けた課題について</li> <li>・ 計画素案の作成について（計画の構成、計画策定におけるキーワード、取組みの方向性）</li> </ul>
第5回	令和5（2023）年 7月10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来像の検討</li> <li>・ 地域産業の発展と事業者・市民等の相互的な関わりについて</li> <li>・ 施策体系について</li> </ul>
第6回	令和5（2023）年 8月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来像の検討</li> <li>・ 計画の骨子案の検討</li> </ul>
第7回	令和5（2023）年 10月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第2次産業振興マスタープランの素案について</li> <li>・ パブリックコメントについて</li> </ul>
第8回	令和6（2024）年 1月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パブリックコメントへの対応について</li> <li>・ 第2次産業振興マスタープランの報告書について</li> </ul>

## ② アンケート調査及びヒアリング調査

後期計画に対する評価や、本計画に盛り込むべき施策に対する意見及びニーズなどを収集し、市内産業の現状や課題の整理に役立てるため、市民や市内事業者等に対して、アンケート調査及びヒアリング調査を実施しました。なお、農業に関する市民意向調査と消費者アンケート調査を合わせて、市民意向調査として実施しています。

### ● アンケート調査

区分	調査名	実施時期	調査項目	回収数 (回収率)
農業	農業者 意向調査	令和4（2022）年 12月～ 令和5（2023）年 1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 農業経営の現状</li> <li>・ 過去5年間の農業施策について</li> <li>・ 農業者への支援策について</li> <li>・ 農産物の販売（庭先販売、マルシェ出店等について）</li> <li>・ 学校給食について</li> <li>・ 農業の担い手について</li> <li>・ 農地の状況について</li> <li>・ 農業を通じた市民等との交流について</li> <li>・ 環境に配慮した農業について</li> <li>・ その他</li> </ul>	234件 (90.0%)
	市民 意向調査	令和4（2022）年 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 農産物の消費について</li> <li>・ 西東京市の農業・農地の役割について</li> <li>・ 農とのふれあいについて</li> <li>・ 過去5年間の農業施策について</li> <li>・ その他</li> </ul>	891件 (29.7%)
	子ども アンケート 調査	令和4（2022）年 12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の農地の多さについてのイメージ</li> <li>・ 西東京市の農業で思い浮かぶもの</li> <li>・ 農業のことを知り、学ぶ場面</li> <li>・ 市内の農業・農地の貢献度</li> <li>・ 西東京市の農業について知っていること</li> <li>・ 農とのふれあいの経験</li> <li>・ 農とのふれあいを目的にしたイベントの認知度</li> <li>・ 農業・農作業への興味</li> <li>・ めぐみちゃんメニューへの参加経験・意向</li> </ul>	1,097件

出所：西東京市農業振興計画策定に係る調査・報告書（令和5年3月）

区分	調査名	実施時期	調査項目	回収数 (回収率)
商業・サービス・ものづくり等	事業者アンケート調査	令和4(2022)年12月～ 令和5(2023)年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 産業振興に関する市の取組みについて</li> <li>・ 事業承継について</li> <li>・ 人材確保について</li> <li>・ 外部連携について</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症、物価高騰による影響等について</li> <li>・ 商店会との関係について</li> <li>・ 今後について</li> </ul>	739件 (37.0%)
消費者	消費者アンケート調査(市民意向調査)	令和4(2022)年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 日頃の買い物や外食について</li> <li>・ 市内の商店街等について</li> <li>・ 市の取組みについて</li> <li>・ 就労や働き方について</li> <li>・ 西東京市の産業振興について</li> </ul>	891件 (29.7%)

出所：西東京市事業者・消費者アンケート調査報告書(令和5年3月)

## ● ヒアリング調査

区分	調査対象(調査数)	実施時期	調査項目
農業	農業者団体等(15件)	令和4(2022)年10月、 令和5(2023)年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営農に係る課題と展望</li> <li>・ 販売に係る課題と展望</li> <li>・ 農地保全に係る課題と展望</li> <li>・ 後継者確保に係る課題と展望</li> <li>・ 市民の農業理解・消費促進についての課題と展望</li> <li>・ 農家との交流の現状・課題</li> <li>・ 地産地消促進の課題、施策要望等</li> <li>・ 他分野の民間事業者等との連携への可能性・関心</li> <li>・ 各団体の現状・課題等</li> </ul>
商店街	市内商店会(13件)	令和5(2023)年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街・商店会の現状と課題</li> <li>・ 西東京市の現状と課題</li> <li>・ 産業振興に向けてのアイデア</li> </ul>
商業・サービス・ものづくり等	ものづくり等事業者(7件) 商業・サービス等事業者(8件) 起業・創業者(3件)	令和5(2023)年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者の現状と課題</li> <li>・ 西東京市の現状と課題</li> <li>・ 産業振興に向けてのアイデア</li> </ul>
大学・研究機関	大学(2件) その他(1件)	令和5(2023)年2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状と課題</li> <li>・ 産業振興に向けてのアイデア</li> </ul>

### ③ パブリックコメント

西東京市第2次産業振興マスタープラン（素案）について、市民の皆さまに広く周知するとともに、本市の産業振興についてのご意見やご提案を本計画に反映させることを目的に、パブリックコメント（市民意見提出手続き制度）を実施しました。

実施概要	
実施根拠	西東京市市民参加条例（平成14年西東京市条例23号）第13条
実施期間	令和5（2023）年11月24日から12月25日まで
周知方法	広報西東京（11月15日号）・西東京市ホームページ
閲覧場所	情報公開コーナー（田無庁舎5階）・西東京市ホームページ
対象者	在住・在勤・在学者、市内に事務所または事業所がある法人・団体
提出方法	産業振興課へ直接持参・郵送・FAX・メール 西東京市ホームページの意見提出フォームより
パネル展示	令和5（2023）年12月16日午後1時から5時まで / コール田無

実施結果	
意見提出人数	8名
意見件数	10件

## 7 調査結果の概要と産業振興に対する意見・アイデア

アンケート調査とヒアリング調査の結果概要を、調査対象ごとに整理しました。アンケート調査の結果概要は、設問ごとの結果から読み取れる内容を記載しています。また、各調査の自由意見・アイデアと、ヒアリング調査の現状と課題等については、寄せられた意見の中から抜粋して掲載しています。

### ● アンケート調査

#### 農業者意向調査

調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 販売金額規模が小さい農家が多く、その割合も微増傾向にある。</li><li>・ 農業収入安定化への取組みとして、出荷先の多様化や新しい品目の生産導入、肥料や農薬の適正量の使用によるコスト管理・安全管理の要望が高い。</li><li>・ 直売所での販売や機会の拡充が求められている。</li><li>・ 規格外品の活用・販路形成の拡大や、市としてのブランド確立の要望が高い。</li><li>・ 環境に配慮した農業など、社会課題に対応した農業が求められている。</li></ul>
自由意見 ・ アイデア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 農業経営を生業にしたいという若者が増えることを期待する。</li><li>・ 意欲ある農業者が今後も安心して農業を続けられる西東京市であってほしい。</li><li>・ 食料自給率を回復するためにも都市近郊農地を保全する施策が必要である。</li><li>・ 相続時の税負担が一番の問題である。</li></ul>

#### 市民意向調査

調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市民は、都市農業・農地の多面的な機能として、「新鮮で安全な農産物の供給」を重視している。</li><li>・ 市内産農産物を購入しない理由として、自宅の近くにないことや直売所の存在・場所を知らないことなどが挙げられている。</li><li>・ 農産物を購入する際に有機農産物等であるかを意識している市民が一定数いる。</li></ul>
自由意見 ・ アイデア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 農地が減り続けていることが気になる。</li><li>・ 地元の食材を使っているお店などをまとめたガイドブックを作る。</li><li>・ 学校教育などを通じて、まず若年層に西東京市の農業をPRすることが必要。</li><li>・ スーパーの店頭などで、マルシェ等を開催すると気軽に行けて良い。</li><li>・ 直売所マップなどをネットで見られると嬉しい。</li><li>・ 市民農園を増やして、気軽に利用できるようにしてほしい。</li></ul>

## 子どもアンケート調査

調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市の農業に関する事柄の中では、キャベツの認知度が高い。</li> <li>・めぐみちゃんの認知度が高く、めぐみちゃんメニュー事業や学校給食の市内産農産物利用に対する関心や要望も比較的多い。</li> <li>・農業とふれあえるイベントの認知度は全体的に低いが、農業・農作業に興味を持っている子どもも一定数いる。</li> </ul>
自由意見 ・ アイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・育てたものを収穫し、調理して食べるイベントを開催する。</li> <li>・小・中学生が学校で農業を体験できる機会があると嬉しい。</li> </ul>

## 事業者アンケート調査

調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業主や経営者が高齢である事業者は、事業承継を行わず、廃業を予定しているところが多い。</li> <li>・小規模事業者ほど後継者や人材の確保に課題や困難を抱えている。</li> <li>・事業者と企業・大学をつなぐ存在が求められている。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症と物価高騰の影響は、未だに継続している。</li> <li>・原材料やエネルギー等のコストの増加が企業活動の大きな課題となっている。</li> <li>・商店会の加入率は業種によって異なるが、若い経営者も加入する意欲を持っている。</li> <li>・商店街の活性化や起業・創業支援を通じて市内に人を呼び込み、地域の経済循環を生むことが求められている。</li> <li>・事業者間の連携を推進・強化する仕組みや人材が必要とされている。</li> <li>・若い経営者や小規模事業者に対する定期的・継続的な支援が求められている。</li> </ul>
自由意見 ・ アイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同業者だけでなく、他業種とも交流できる機会を増やす。自社を多方面にPRできる場がほしい。</li> <li>・空き店舗を活用した際の家賃補助などで若手経営者の新規事業を後押しする。</li> <li>・西東京市のファン作りを中心に、マーケティングを見直すことで自然と情報が拡散していく仕組みを作ってほしい。</li> <li>・東大農場とコラボしたイベントを開催する。</li> <li>・地域資源を活用するために、関係者や関係企業との連携の網渡しを行政が行えば、自然とその情報は広まり、その輪も広がっていくと思う。</li> </ul>

## 消費者アンケート調査（市民意向調査）

調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 食品や日用品以外の買い物や外食等については、市外の店舗の利用が多い。</li><li>・ 商店街の利用状況は、自宅周辺の商店街の有無によって差が生じている。</li><li>・ 若い世代は、収入を増やす手段として起業や副業に興味を持っている。</li><li>・ 歩行者が楽しみながら買い物ができる商店街が求められている。</li><li>・ イベントの開催や空き店舗の活用など、商店街の活性化を通じた地域振興が重視されている。</li><li>・ 西東京市の特徴や特産品を市外にPRし、集客や人材確保につなげることが求められている。</li><li>・ 西東京市で活躍できる人材の育成が必要とされている。</li><li>・ 市内での雇用や消費を促進し、経済循環を生むことが期待されている。</li></ul>
自由意見 ・ アイデア	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 若者の起業家、技術者、芸術家等が安く起業できる集合施設を提供し、若者が集まる場をつくる。</li><li>・ 商店街の認知度がもっと上がるようにPRをして、商店街のにぎわいや個店の売上増加につなげる。</li><li>・ 商店街と学生が連携したイベントの開催や期間限定店舗の実施。</li><li>・ 商品を試験的に売ってみたい人が利用できるシェア店舗のようなものがあつたら良いと思う。</li><li>・ 市民が楽しめ、それをきっかけに商店街や事業者の良さがアピールでき、幅広い世代の人が交流できる事業を作る。</li><li>・ シンエイ動画などのアニメ制作会社とコラボしたPR動画の作成。</li></ul>

## ● ヒアリング調査

### 農業者団体等

営農及び活動等の 現状	<ul style="list-style-type: none"><li>・ スーパーでの市内産農産物の販売が好評である。生産者の顔がわかるため、安心して買ってもらえる。</li><li>・ めぐみちゃんメニュー事業がきっかけで、レストランとの取引ができた。</li><li>・ 需要に対応するための人手の確保が課題である。</li><li>・ 作物の単価が安すぎるため、農業で生計を立てられない。</li><li>・ 体験農園の利用者は継続利用者でほぼ満員である。以前は高齢者の利用が多かったが、今は若者や子育て世代の利用もあり、年齢層が変化している。</li></ul>
西東京市の農業に ついての意見、 今後の展望等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 規格外品の販路を見つけたい。</li><li>・ 野菜の販売ができる市民のための施設がほしい。</li><li>・ 西東京市の農業の必要性をPRし、市民の農業への理解を深める施策が必要。</li><li>・ 農地の減少について大きな対策を打たない限り、農地は減る一方である。</li><li>・ 市民農園等の利用が広まると農業への理解が高まる。</li></ul>

## 商店会

商店会の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高齢化や事業承継、若手の育成が課題である。</li> <li>・ 商店会の加入率が低く、新規店舗が会員にならない。</li> <li>・ 店舗の閉業によって、会員数が減少している。</li> <li>・ 空き店舗が少ない地域と、空き店舗対策が急務である地域がある。</li> <li>・ 新しい住民との交流ができていない。</li> </ul>
西東京市の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 田無駅というターミナル駅がある。</li> <li>・ 線路で駅の南北が分断されている。</li> </ul>
産業振興に 向けたアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店会の会員になるメリットを明確に示し、会員数を増やす。</li> <li>・ 商店街の情報や、まち歩きのための地域資源の情報等を掲載した、住民の役に立つホームページを作成する。</li> <li>・ 商店会同士が話し合う場を継続して開催する。</li> </ul>

## ものづくり等事業者

事業者の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材の確保や、事業・技術の承継が課題である。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている。</li> <li>・ 商工会に入ったことで仕事が増えた。</li> </ul>
西東京市の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都心に出やすい。</li> <li>・ ホテルや、お酒を楽しめるお店や接待に利用できる場所が市内にあまりない。</li> </ul>
産業振興に 向けたアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通の便が良く、自動車の交通量が多いので、道の駅や野菜の直売所等の施設を作り、西東京市で食事や消費をしてもらう。</li> <li>・ 西東京市が創業に力を入れていることをもっとPRする。</li> <li>・ 若者が起業・創業にチャレンジできる仕組みを作る。</li> <li>・ 特産物があれば、西東京市を知ってもらえる。</li> </ul>

## 商業・サービス等事業者

事業者の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人材の確保や育成が課題である。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症で、人が集まる事業をしづらい。</li> <li>・ 市の事業者支援策をそもそも知らない。</li> </ul>
西東京市の 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅が市内に5つあることは大きなポテンシャルである。</li> <li>・ 市外の人に西東京市が知られていない。</li> <li>・ 「西東京市ブランドといえばこれ!」というものがない。</li> </ul>
産業振興に 向けたアイデア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業誘致を行う。</li> <li>・ 多摩六都科学館など、既存の地域資源を活用する。</li> <li>・ 事業者の交流会を開催する。市の主催だと安心できる。</li> <li>・ 事業者が連携して課題解決に取り組むことが重要である。</li> <li>・ もっと西東京市の知名度を上げる必要があるため、情報発信が必要である。</li> </ul>

## 起業・創業者

起業・創業者の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・財務や雇用に関する基礎知識、業務の効率化、店舗拡大が課題である。</li><li>・今後は地域の方と交流を広げていきたい。</li><li>・地域の企業に依頼したいが、コスト面が折り合わないため大手企業を選んでいる。</li><li>・雇用が課題であるが、何かからすれば良いのかがわからない状況である。</li></ul>
西東京市の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・都心に出やすく、緑がある。</li><li>・西東京市の創業支援はサポートが温かく、シニアにも優しい。</li><li>・西東京市の存在や長所が知られていないと感じている。</li><li>・市の公式LINEがあることが知られていない。</li></ul>
産業振興に向けたアイデア	<ul style="list-style-type: none"><li>・事業者のお悩み相談会や交流会等の機会がほしい。</li><li>・事業承継や空き店舗等についての情報がほしい。</li><li>・学生向けの創業サポートがあると良い。</li></ul>

## 大学

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・大学では専門分野によって地域との関わり方が異なっている。</li><li>・SDGsやまちづくりに興味を持つ学生は多い。</li><li>・西東京市は幅広い世代がいて人口も多いため、大学の活動フィールドに良い。</li></ul>
産業振興に向けたアイデア	<ul style="list-style-type: none"><li>・学生をインターンシップとして受け入れてくれる企業が市内にあると良い。</li><li>・学生はやりたいことがあっても活動できる場所がないため、空き店舗等を貸してほしい。</li><li>・大きなイベントも良いが、小さなイベントを定期的に行うことも重要。</li></ul>

## その他

現状と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・多摩六都科学館では、科学館事業と、地域資源の活用や魅力発信を行う地域拠点事業を実施している。</li><li>・東大農場との連携や、まち歩き等も実施している。</li></ul>
産業振興に向けたアイデア	<ul style="list-style-type: none"><li>・市や地域の事業者と連携して、講座やイベント等を開催する。</li><li>・シェアサイクル等を利用することで、科学館へのアクセスが改善される可能性がある。</li><li>・科学館内に、地域の情報についてのチラシ等を置く。</li></ul>